

提出資料 1

平成23年1月28日

B-1ご当地グルメを活用した地域おこし（八戸市）



1. 八戸市のデータ ～概要～

<八戸市の位置>



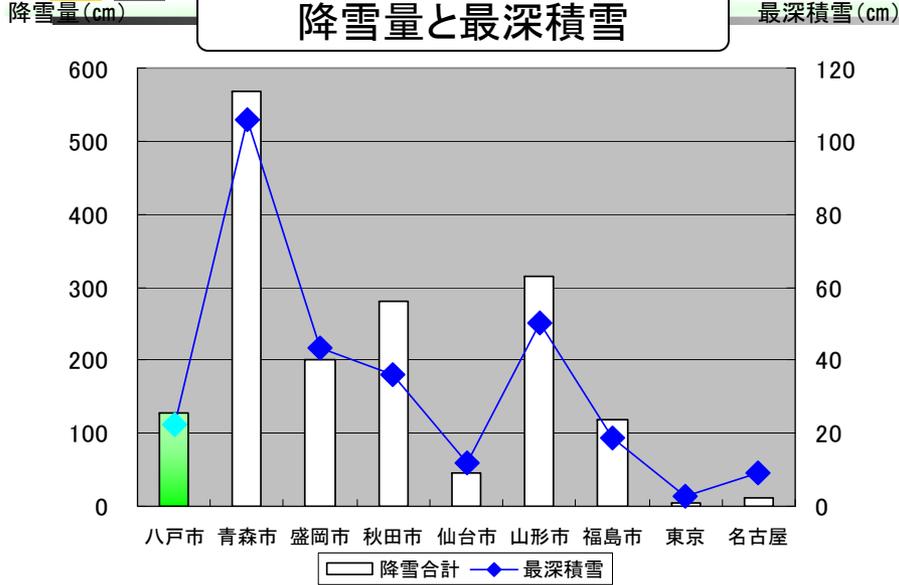
1. 人口:241,786人(H22.5末)
→ 青森県第2の都市
2. 商圏人口:約67万人(H18)
→ 商圏:青森県南～岩手県北～秋田北東部
3. 商品販売額:8,254億円(H19商業統計調査)
→ 青森県第2の都市
4. 水揚げ量:139千トン(H21)
→ 全国3位の水産都市
5. 製造品出荷額:5,891億円(H20工業統計調査)
→ 北東北最大の工業都市
6. 港湾貨物取り扱い量:2,472万トン(H21)
→ 東北第3位の港湾物流都市

青森県の南東部に位置し、人口約25万人の、県内最大の工業出荷額を誇る工業都市、全国有数の水揚げ量を誇る水産都市、さらには、国際コンテナ定期航路を有する北東北の物流拠点都市として発展。

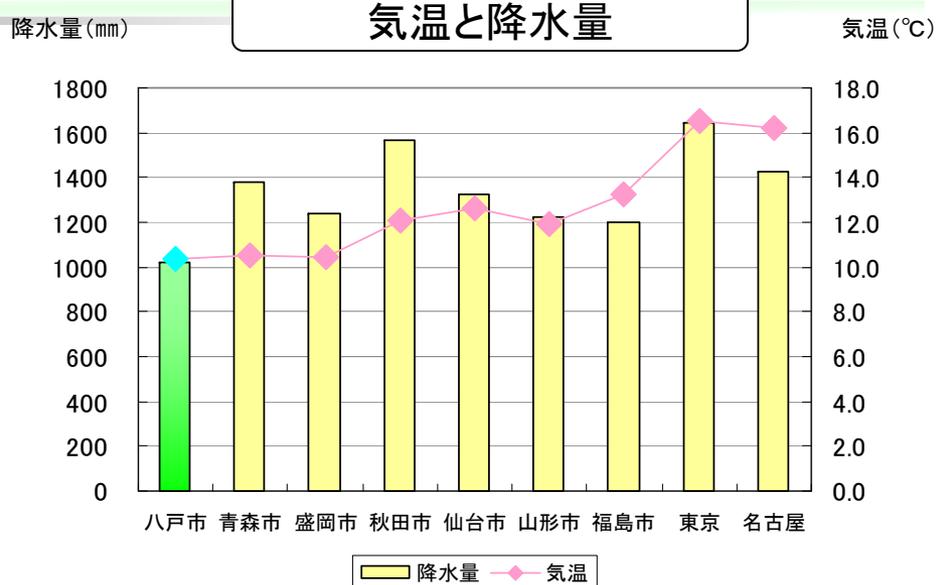
1. 八戸市のデータ（雪が少なく、日照時間が長い気候）



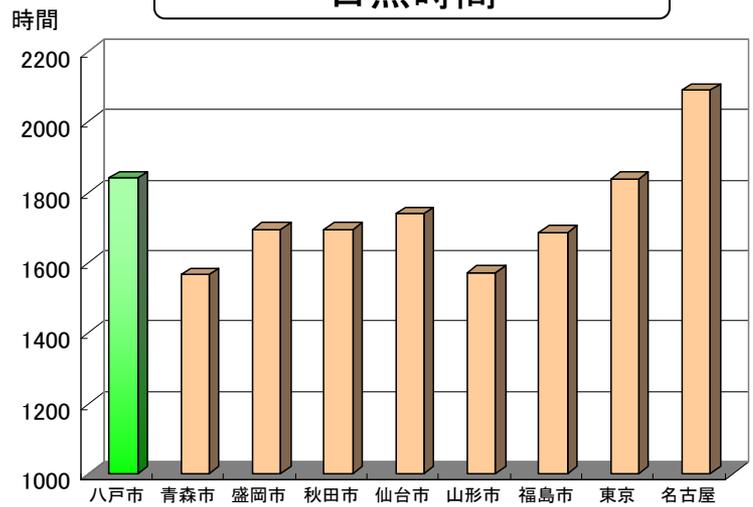
降雪量と最深積雪



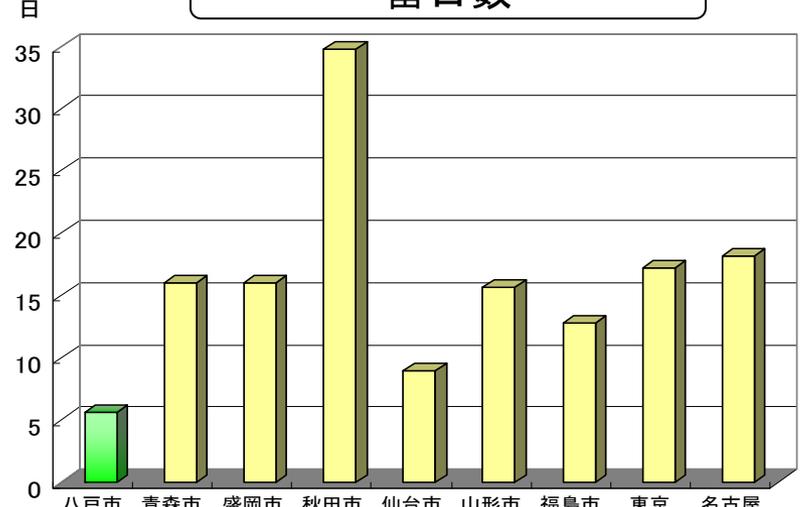
気温と降水量



日照時間

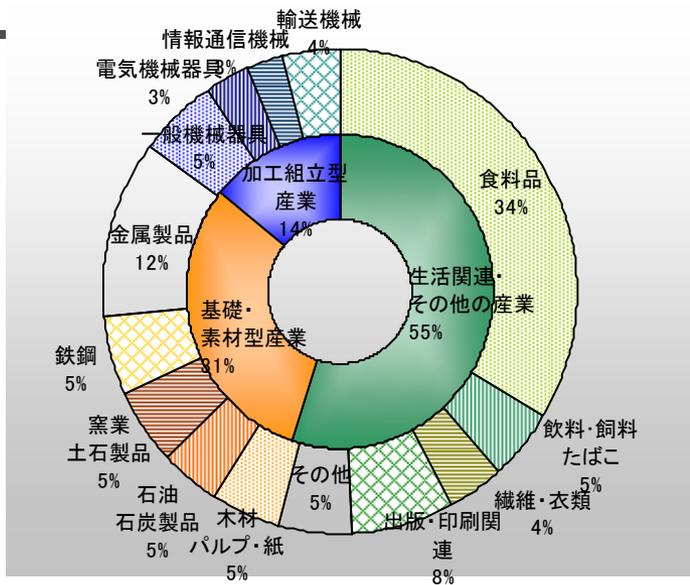


雷日数

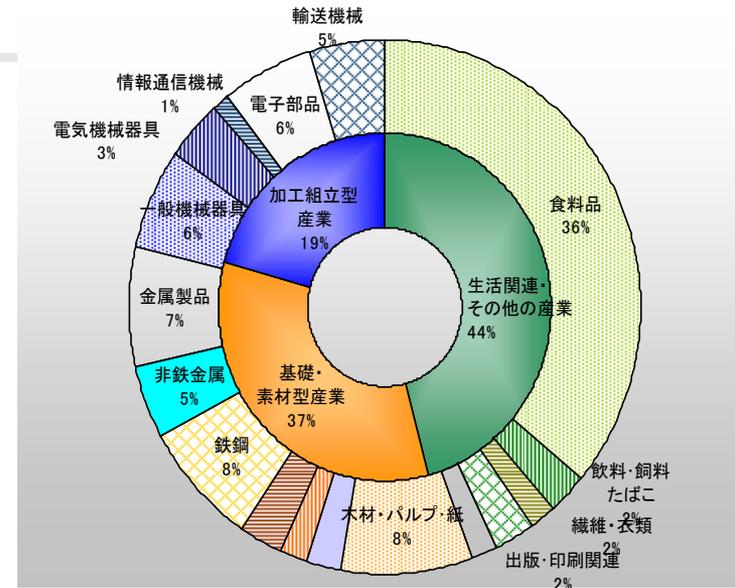


1. 八戸市のデータ ～ 製造業が盛んな工業都市 ～平成20年度工業統計

①事業所数・構成比(産業別 中分類) 386事業所



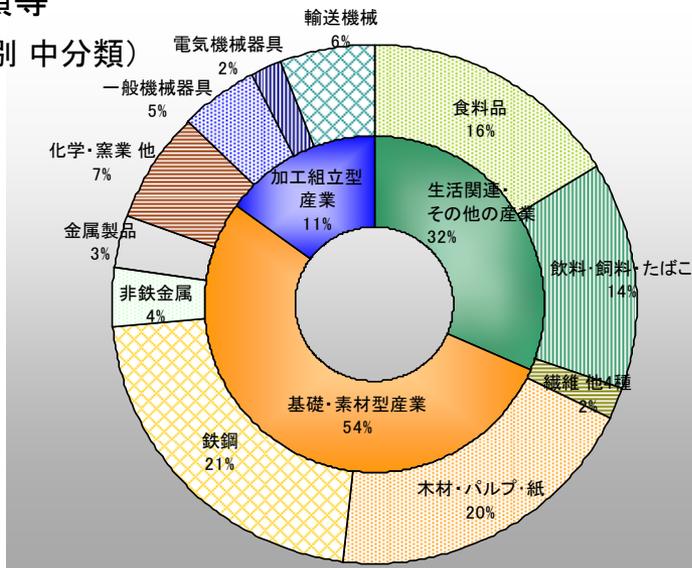
②従業員数・構成比(産業別 中分類) 14,366人



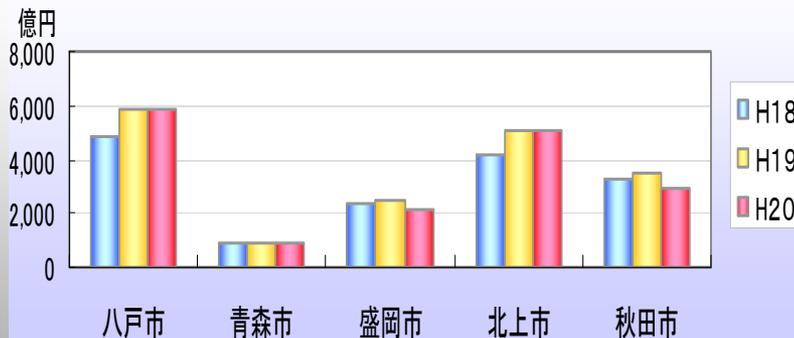
③製造品出荷額等

・構成比(産業別 中分類)

約5,891億円



製造品出荷額等の比較



→ 北東北最大の工業都市

1. 八戸市のデータ (青森県・八戸市のピカイチデータ)

- 
- ① **イカの水揚げ量**日本一! (八戸市) 全国のイカの4割が八戸で水揚げ
 - ② **ヒラメの水揚げ量**日本一! (八戸市)
 - ③ **赤物類 (キンキ、メヌケ類) の水揚げ量**日本一! (八戸市)
 - ④ 日本一脂ののったサバ「**八戸前沖さば**」 (八戸市)
 - ⑤ **公衆浴場数**日本一! (青森県) 人口10万人当たり25.2所
 - ⑥ 日本一の**早寝** 22:32 (青森県)
 - ⑦ 日本一の**早起き** 6:22 (青森県)
 - ⑧ 銭湯なのに**温泉**がある (八戸市)
 - ⑨ **早朝5:00**から営業する銭湯がある (八戸市)
 - ⑩ 日本一と驚く**巨大朝市**がある (八戸市)

1. 八戸市のデータ (交通アクセス向上～E5系「はやぶさ」～)



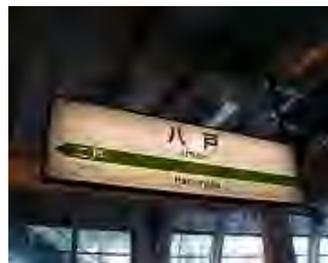
E4系「はやて」



新型高速新幹線E5系「はやぶさ」



JR八戸駅



東北新幹線

東京まで最速2時間56分→2010年12月4日 新青森駅開業

東北縦貫自動車道

東京まで約650km

三沢(八戸)空港

東京まで1時間20分、大阪(伊丹)まで1時間30分

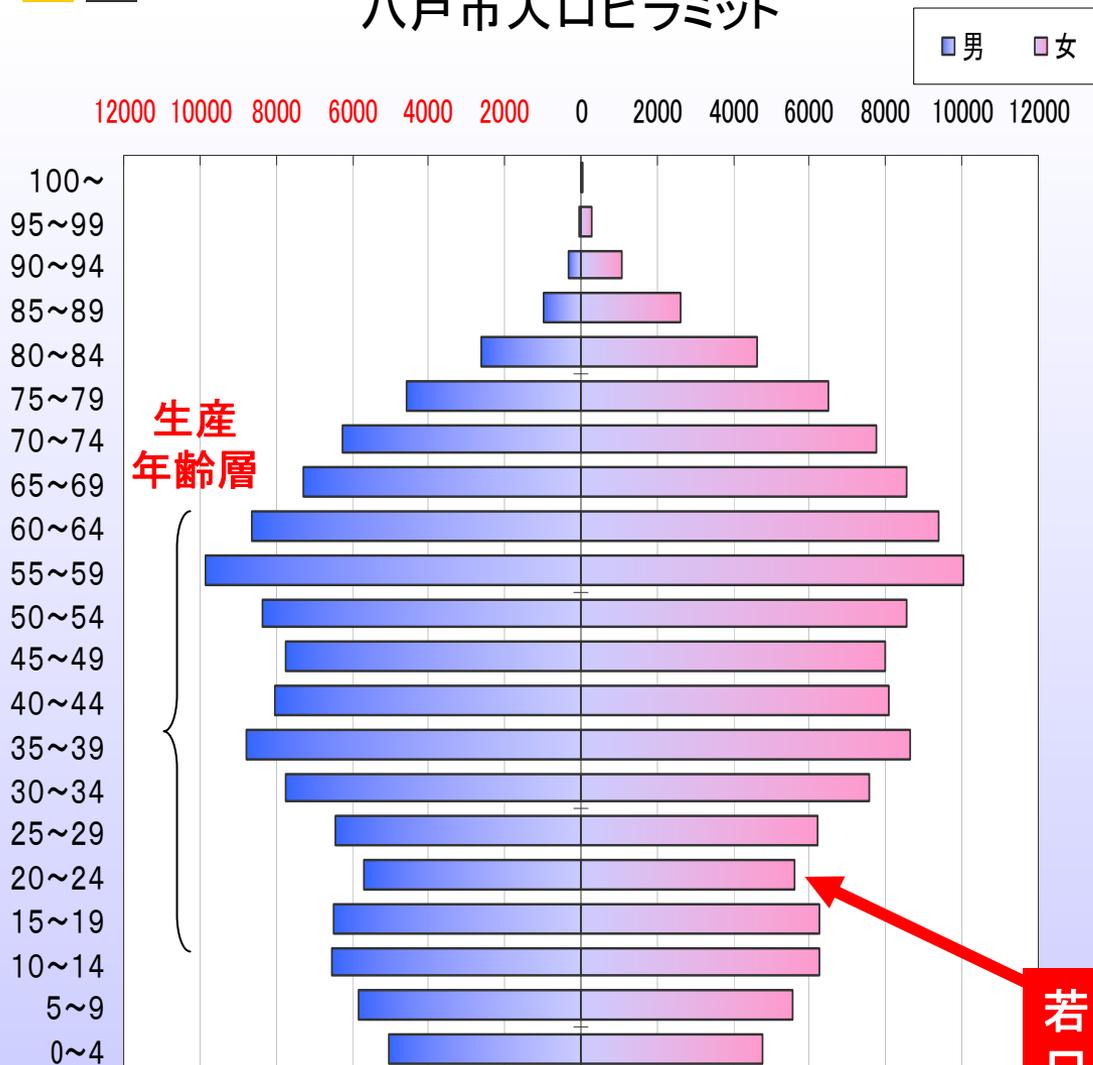
フェリー

苫小牧に就航(4便/日)

2. 現在抱えている課題（急速に進む少子高齢化）



八戸市人口ピラミッド



平成22年4月30日現在

○人口=241,883人
(男116,280人、女125,603人)

○平均年齢=44.52歳
(男42.81歳、女46.10歳)

○生産年齢人口(15~64歳)
168,192人(69.8%)・・・H2
⇒154,260人(63.8%)

○高齢化率(65歳以上)
9.73%(H2)⇒**22.43%(H22)**

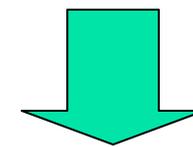
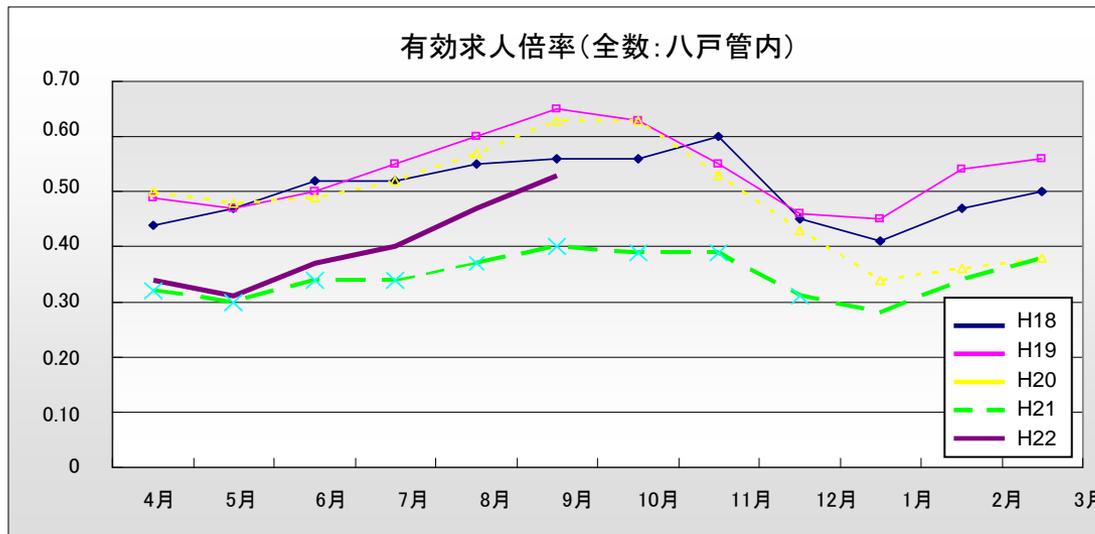
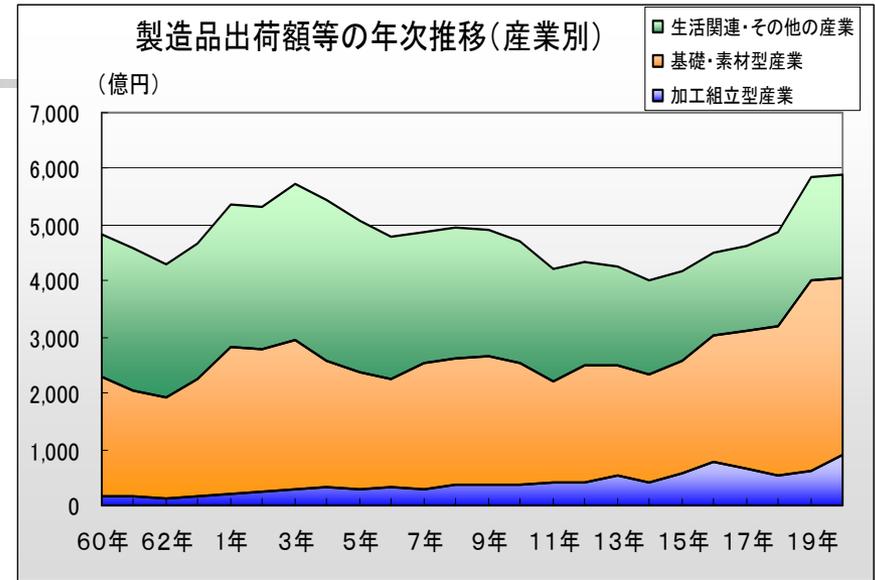
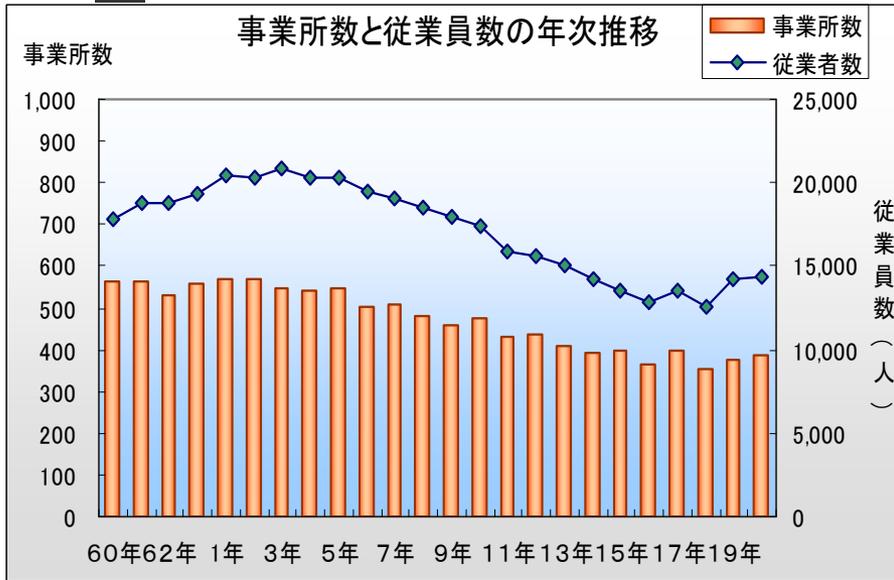
**急速に進む高齢化
(20年間で2倍超)**

○合計特殊出生率 1.32(H21)

若年層(18歳・22歳人口)

※全国1.37
青森県1.26

2. 現在抱えている課題 ～伸び悩む製造業・有効求人倍率の現状～



**観光振興による
交流人口拡大!!**

■ 八戸市の食



せんべい汁

肉や魚、野菜などで出汁を取った汁の中に、料理用のせんべいを割り入れて煮込んだ料理



いちご煮

ウニとアワビのお吸い物。お椀に盛り付けた時、乳白色の汁に沈む黄金色のウニが、「朝もやに霞むキイチゴ」のように見えることから名づけられた。

【平成19年12月】

・農山漁村の郷土料理百選に選出（農林水産省）

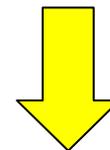
■ 朝市・横丁マップ

朝市⇒港町・八戸の食文化を満喫 8箇所

横丁⇒港町・八戸の人情ブルース 8つ



宿泊しないと
両方味わえない



宿泊型観光地
&
ビジネスマン

■ 八戸あさぐる

朝専用「朝市」「朝ぶろ」乗合タクシー

タクシーがホテルまで出迎えし、朝市で朝ごはんを食べ(実費)と朝ぶろをめぐり、ホテルへ戻る



■ 驚きの朝市

湊日曜朝市 & 海の朝市・・・400店 3万人



■ ■ 美味しい朝市



イサバの Катチャ
(魚商のお母さん)

陸奥湊駅前朝市



■ 自分だけの朝市丼 (かって丼)



皆で分け合っ
て食べよう

好きなおかず
を皆で買って



自分流の
丼を作って

ご飯100円

味噌汁100円

■ 8つの横丁



ハ一モニカ横町
八戸昭和通り
五番街
たぬき小路



みろく横丁
長横町れんさ街
口一丁れんさ街
花小路



■ ■ 特色ある横丁



間口一間創業30年



八戸前沖さば



1対8の法則
店主1:お客8

自然



種差海岸（国名勝・県立自然公園）

天然の芝生が、波打ち際まで続く種差芝生地



蕪島（国天然記念物）

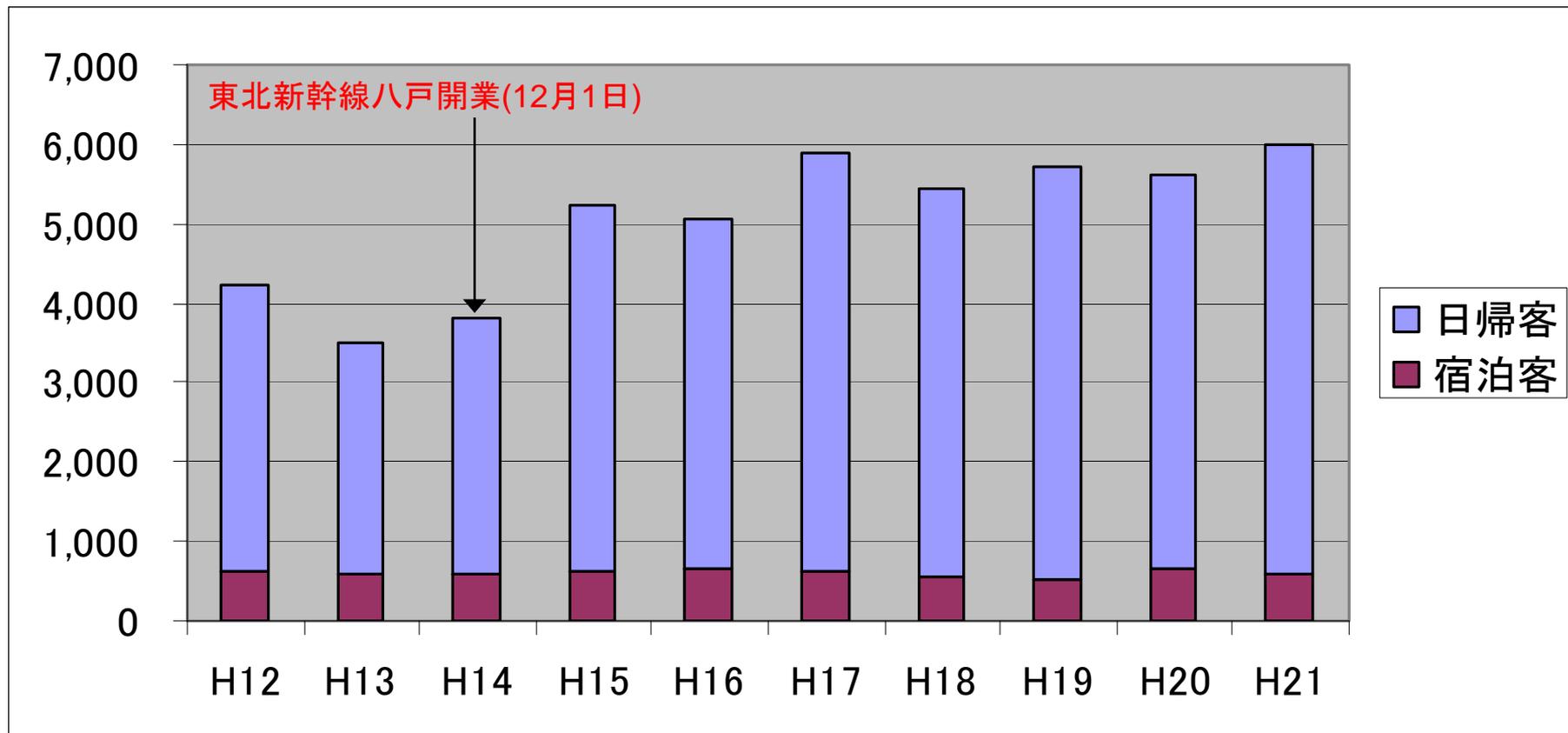
毎年3月上旬～8月上旬にかけて、約4万羽のウミネコが飛来する。間近で営巣の様子を観察できる国内唯一の繁殖地

八戸市の観光客の推移

- 平成14年12月1日、東北新幹線八戸開業により、八戸市への入込客数増加
- 平成21年は**5,983千人**で過去最高
- 宿泊客は、平成20年の**666千人**がピークだが、大きな落ち込みもなく推移

八戸市の観光レクリエーション客入込数(単位:千人)

出典:青森県観光統計概要



■ 東北新幹線八戸開業効果

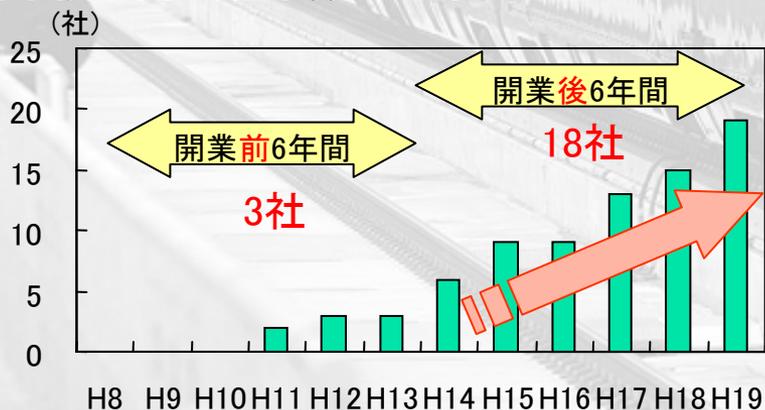
JR「盛岡・八戸間」1日当たり平均利用者数

➤ 増加傾向を維持 5年目、開業前比64%増



八戸市誘致企業数 (H8以降累積)

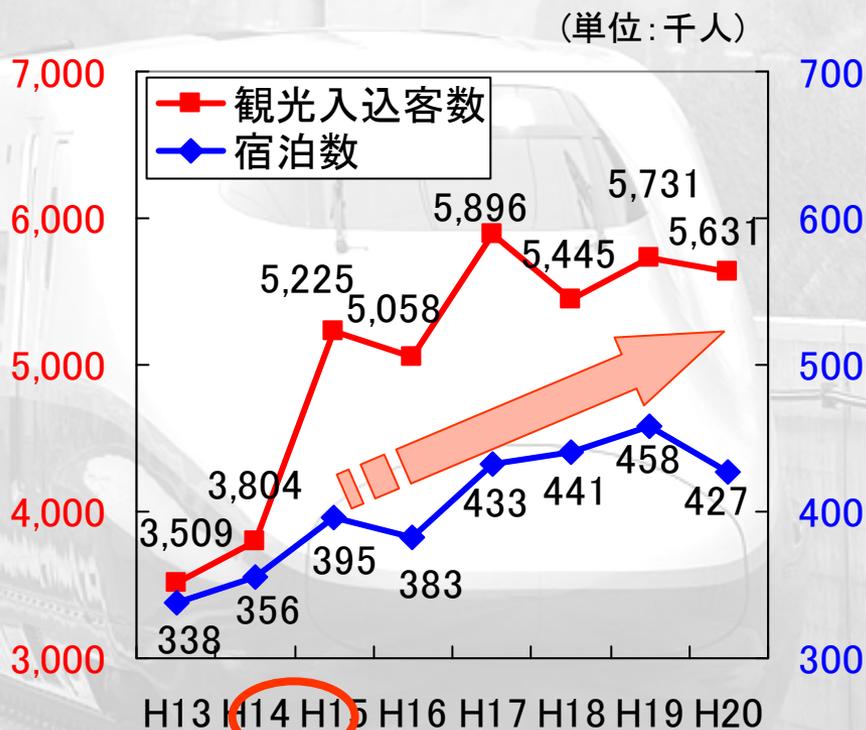
➤ 開業後の誘致企業数は18社に



観光客入込数と市内ホテル宿泊者数

➤ 観光入込客数:300万人台から500万人台へ

➤ 宿泊者数:30万人台から40万人台へ



開業!

出典：青森県観光統計概要
：八戸ホテル協議会調べ

■ 攻めの水産業

魚市場の機能統合

衛生管理の高度化

漁船漁業の再生

- 八戸漁港流通構造改革拠点漁港整備事業
基本計画全国第1号の承認(H20年2月)



事業の着実な推進

- 老朽化漁船代船対策事業
- 魚市場衛生管理推進事業
- 水産加工品販売促進事業
- 海業振興事業(H20年3月答申)



水産業の総合的な振興

【現状と課題】

- ・八戸漁港は日本有数の漁業基地として発展
- ・水揚げ減少、国際的な漁業環境・流通体系の大きな変化、燃油価格高騰、魚市場の老朽化など厳しい水産環境

抜本的な再構築が必要！

- 産地市場機能の集約と漁船漁業改革の連携による生産・流通の効率化
- 品質・衛生管理の高度化による国際競争力の強化

生産：漁船漁業改革

H19年4月
「八戸地域プロジェクト協議会」発足

『漁船漁業構造改革総合対策事業』
大中小型まき網漁業に関する改革計画が
水産庁から認定（H19年6月）

H20年3月
改革型まき網漁船
「第83惣寶丸」竣工



流通：漁港流通構造改革

H18年8月
「八戸漁港検討会議」発足
欧州水産都市視察
(H19年9～10月)

『流通構造改革拠点漁港整備事業』
八戸漁港の流通構造改革拠点漁港整備事業の
基本計画が水産庁から承認（H20年2月）

衛生管理の
高度化



- 1 漁船漁業の再生に向けた取り組み（漁船建造、地域プロジェクトへの支援など）
- 2 魚市場機能の衛生高度化及び効率化（ハサップ対応型魚市場の整備、現施設の衛生高度化改修）
- 3 水産物の輸出をはじめとする加工・流通促進（EUへの水産物輸出、トレーサビリティ推進）

■ 貿易の振興

◆北東北の経済活動を支える物流拠点

- 製紙・金属製造業等を中心とした生産拠点
- 本州～北海道のフェリー輸送の拠点
- 北東北最大規模の港湾

年間貨物取扱量 2,588万トン(H20)

コンテナ取扱量 36,241TEU(H20)

- 港湾整備事業
- 輸入促進・対内投資事業
- 貿易支援施設入居促進補助事業
- 八戸港国際物流拠点化推進協議会事業
- 八戸港PR作戦事業

[八戸港の重要性や役割について、シンポジウムなどで、国や県民及び企業に周知]

◆コンテナ航路が就航

- 東南アジア航路(PIL社)
- 中国・韓国航路(南星海運(株))
- 北米航路(WSL社)
- 内航フィーダー航路
 - ・(株)横浜コンテナライン
(横浜-仙台-宮古-八戸-苫小牧-横浜)
 - ・井本商運(株)
(東京(横浜)-八戸-仙台-東京(横浜))
 - ・鈴与海運(株)
(横浜-八戸-苫小牧-横浜-名古屋-横浜)



中心市街地再生

○中心市街地活性化基本計画(平成20年7月認定)

⇒5つの数値目標、46の活性化事業

《活性化の目標》

- I 来街者を増やす
- II 滞在型観光客を増やす
- III 商店街の活力を回復する
- IV 定住を促進する



八戸ポータルミュージアム「はっち」

2/11開館

施設の目的・概要

新たな交流の拠点として中心市街地に賑わいを取り戻し、さらにはそこでの活動を八戸市全体の活性化につなげる。

位置	八戸市大字三日町
構造	鉄筋コンクリート5階建(免震構造)
延床面積	約6,480㎡
敷地面積	約3,387㎡

施設の理念



つながる

人・もの・情報の
交流の場とします。



うみだす

八戸ならではの魅力
創造の場とします。



ひろがる

八戸の魅力に出会い
発信する場とします。



トコ
789
123
hacchi

施設事業3つの柱

1. 会所場づくり

2. 貸館事業

3. 自主事業

基本方針

- ・中心市街地賑わい創出
- ・文化芸術活動の振興
- ・ものづくりを通じた新しい価値の創造
- ・八戸の魅力発信、観光を通じた地域活性化

■ 合掌土偶 国宝指定!!

国宝指定までの経緯

【平成元年7月】

- ・長芋作付けによる緊急発掘調査
- ・第15号竪穴住居跡の出入り口から向かって奥の北壁際から出土

【平成9年6月30日】

- ・八戸市風張1遺跡から縄文時代後期後半の遺物666点が出土
- ・縄文時代晩期の是川遺跡に代表される亀ヶ岡文化の形成を考えるうえで極めて貴重な学術資料として、国の重要文化財に指定

【平成21年3月19日】

- ・国の文化審議会から、文部科学大臣へ答申
- ・重要文化財のうち「合掌土偶」1点が、国宝に指定
されることが決定（21年7月10日告示）

青森県における国宝指定は、昭和28年の赤糸威鎧・兜、白糸威褌取鎧・兜以来、56年ぶり!!



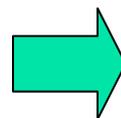
■ 八戸せんべい汁ブランド化の経緯

八戸せんべい汁

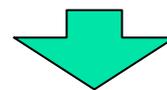
青森県南東部や岩手県北部一帯で、約200年前から食べられている郷土料理



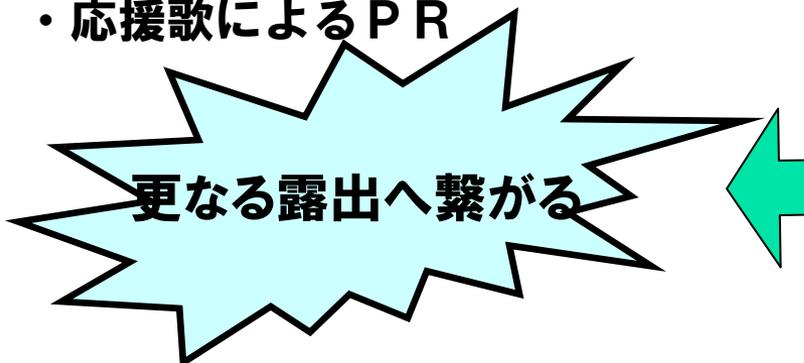
- ・平成14年12月新幹線開業を照準に郷土料理をお土産に商品開発
- ・そのコアメンバーが核となり、市民団体「八戸せんべい汁研究所」設立
- ・各種イベントでのお振舞いによる口コミの誘発、ファン作り・オフィシャルサイトの運営
- ・HP・ガイドマップ等による飲食店の情報提供
- ・応援歌によるPR



戦略的な情報発信により露出度UP



大手メーカーとの共同商品開発によるブランド化へ





B-1 グランプリ



B級ご当地グルメの祭典!
B-1グランプリ

【B-1 グランプリ（発祥の地）】

地方からソウルフードを発信！！全国の「**食による地域おこし**」に取り組む団体の連携によるご当地グルメのブランド化

B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会 通称「**愛Bリーグ**」が主催

第1回 青森県八戸市（2006年2月）
出展団体数：10団体（7道県）
来場者数：1万7千人

第2回 静岡県富士宮市（2007年6月）
出展団体数：21団体（13道県）
来場者数：25万人

第3回 福岡県久留米市（2008年11月）
出展団体数：24団体（14道県）
来場者数：20万3千人

第4回 秋田県横手市（2009年9月）
出展団体数：26団体（15道県）
来場者数：26万7千人

第5回 神奈川県厚木市（2010年9月）
出展団体数：46団体（23道県）
来場者数：43万5千人

第6回 兵庫県姫路市（2011年秋）

次回こそ1位か？

■ 八戸せんべい汁の流通

